

18.01.26

第9回 街中ゆったりカフェ 記録

日時：2018年1月25日(木)、13:30~15:00

会場：音杉コミュニティセンター、会議室

参加者：5人

題目：下田の金山について

講師：gosさん(下田ふるさとの会)

講演内容

▲講師経歴 主なもののみ記す。

・学校時代は地元で電気を学び、名古屋で就職。10年後に帰郷し、地元の電気系企業でパカラーの半導体つくっていた。その後は自動車に掲載のパリコン部品を作っていた。品質管理もしていた。

・定年後には郷里でふるさとの会に携わる。上市の小学生に古里学習の一環で下田金山について実地でアシストしている。

・一般の方々には、今年は相ノ木、南加積、稗田の各公民館で講演させていただいた。

▲下田金山 話の要点のみ箇条書きする。

・採金には二種類あり、山金と砂金。

外国の多くは砂金。

日本の金山 佐渡、下田、鹿児島

・下田部落：信州より下田に移住 1142年

・下田の金の鉱脈：天正二年(1574)に発見
金山坑口は数百ありといわれている。
整備された坑口は10個程。

・越中七金山：富山県には東部と中部に
またがって7つの金山。

松倉、川原波、虎谷、下田、亀谷、吉野、
長棟

松倉から下田まで金山、
吉野や長棟は鉛。

金山発見年：下田 1574年、
河原波 1533年、虎谷 1615年、
松倉 1394年

・金の属性

千数百度で溶ける、
不純物入ると700度くらいでも溶ける。
金は、当初は超新星爆発で作られる
といわれていたが、
今は中性子爆発ではといわれている。
金は重く比重19。電気や熱を通す。

・金の証明

鑄造の人間しか品質は知らない。

後藤家のお品書きが本物証明。

金貨の品質を一般人は調べられないので
お品書きが必要。

・鉱毒

下田の三枚田地域では鉱毒で水が汚染。
飲まないようにしていたという。

洗練の時の水銀が

大気中に放出され鉱毒となる。

・金の価値

武田信玄 貨幣制度作る。

豊臣秀吉 大判、小判を作る。

秀吉は200兆円の資産

江戸初期まで、金は80数%の純度。

それ以降は純度低下。

幕末から金が海外へ流出

金細工に使われる。

江戸時代では一両一石、

明治には一両を一円

・年収、現在の貨幣価値で算定

徳川吉宗：1300億

加賀藩主前田氏：1100億円

杉田玄白：2200万円

越後屋：17億円

農民：660万円

▲感想

- ・地元でよく調べておられる。もっと話を世に出して欲しい。
- ・記録に残すことが大事。ようやく面白さを感じている。
- ・有機物としての人間はテクノロジーで時代を作った。

今後は ai の時代。

- ・宗教は 1000 年で終わりともいわれている。

日本ではキリスト教 1 パーセント。広がらないのは仏教のため。

- ・人間はあの世は浄土の世界。数次元の世界のもの。

- ・人間は 60 兆の細胞からなり、120 歳間では生きれる。

